

『星がきらめく散歩道』 寸評

- ・シャンシャンと鈴が鳴ってるかのようなたのしい伴奏
- ・ドンドン音度を変えるベースもたのしい散歩道らしく聞こえる
- ・どんな楽器でもあいそうな自由闊達なメロディ
- ・活気ある北半球の12月を感じさせる曲調
- ・ズバリそのもののタイトルもある種爽快

完成度をさらに上げるために

- ・ m.7 b.3 ピアノ左手はD \flat
- ・ m.8 b.1 ピアノ左手は属七の基本形で安定感のあるドにしよう
- ・ m.5-6 ピアノ右手のトップノートをうごかしてみる



- ・ m.11 b.4 シ \sharp とシ \flat が同居するのでコードをメロディにあわせる



- ・ m.16 b.3 ピアノ右手トップノートが主音でおわりた



- ・ m.6, 8, 13-14 Fl. に1音ずつテヌートを振ったらどうだろう
- ・ m.4 b.2, m.12 b.4 Fl. それぞれ3つの音符をまとめるスラーをつけたい
- ・ ピアノにもダイナミクをさいしょの小節に *mf* 等つけよう

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

きいてるとそぞろ歩きしたくなります。

持麿 勉